

AO・HANI

Social Welfare Organization Since 1991 Nara City Japan

2011 October 66号

あおはにのイベント
クラフト展



究極の省エネ防寒グッズ
「やまとのおいね」

自然学校通信

生活支援部より

「あおはにに新しい仲間が増えました!!」

地域便り

連載コラム: 支援スタッフの声

理事長メッセージ: あかるい福祉あかるい地域

第26回 柚ノ川ランド あおはにプレ20周年祭

セントラル



ソラがオープンし4か月がたちました。おかげさまでスタート時の慌ただしさも少しずつ落ち着き、利用者さんもじっくりと集中して、自分の仕事に取り組めるようになってきました。日々地域の方々や遠方から来られるお客様にもご愛顧いただき、また、全国各地の福祉関係の方々の視察も絶えません。来ていただいた皆様に喜んでいただけるお店づくりを、これからも心掛けていきます。

就労移行で訓練されている方からは、今年度に入つて3名の方の一般企業への就職が決定しました。みなさん採用試験での面接や現場実習を経て、企業への就職を実現しました。一般的に就職難といわれる時代ですし、どの企業の採用試験でも倍率はとても高いです。人倍の努力と苦労があつたことが想像できます。食品加工班からは、「世界に一つだけのカレー」に続くオリジナルブランド商品「森のこちそうレストラン」が新たに完成しました。

京丹後市で獲れた鹿、猪それぞれをメインの具材にしたこだわりカレーです。鹿や猪のイメージからは想像できない上品で、コクのある旨いカレーですので、是非ご賞味ください。

「デリカテッセン イーハトーヴ」には、カレーで有名な食品加工班、ソラの飲食班、お弁当の惣菜・仕出し班の3つの作業班があります。イーハトーヴの福祉サービスを利用される方はこのどれかの作業班に属し、「就職のための訓練をしたい」や「自分らしく働きたい」といったそれぞれの目標を持って作業に取り組んでおられます。そこでは黙々と作業される方、「これは自分の仕事だ、自分がいないと進まない」と、とても主体的に作業される方など様々です。そして、イーハトーヴで過ごす時間が増え、経験を積むごとに表情は明るく生き生きとし、

大人らしく立派に成長されていきます。そのような利用者さんの姿を目の当たりにする度に、私たちは単に法律が定める福祉サービスだけをしていても仕方がないと再認識します。利用される方々が、ここは自分の居場所だと安心できる、これが自分の仕事だ、社会に役立つっているんだと責任や使命感を持てることが大切です。デリカテッセン イーハトーヴとそこに従事する職員には、働くという支援のプロセスと環境を作ること、利用者さんの成長を支えるという一つの大きな役割があることを改めて感じます。

今後地域社会に密着した働く環境と支援の場を、より充実したものに作り上げていきたいと思ひます。

クラフト展



今年もクラフト班では新春にむけて様々な商品をご用意いたしました。年末商品の紙には利用者の方が原料の雁皮(ガンビ)という木の皮を煮込む所から始め、丁寧にゴミを取り除き、一枚一枚手漉しした和紙を使用しています。またデザインには利用者の方が描かれた絵を載せ、温もりのある商品に仕上がっています。カレンダー、年賀状、祝い箸、ポチ袋と種類も充実しています。紙を漉くのが得意な方は紙を漉き、絵が得意な方が絵を描き、そして一つの商品が生まれる。そんなそれぞれの特技を生かし、だれが抜けてもいけなくて、だれもが必要とされるそんな商品作りを今後も目指していきたいと思います。

木工



日笠ワークスでは、今年度より毎月の給料日の朝礼で表彰式を行っています。

表彰中も「次こそは・・・」という声が聞こえてくるようになりました。今では、皆勤賞の常連さんがいるほどです。何かに向かって頑張ろうとする姿は力強く、輝きを放っています。

そして、確実に成長されていく姿に、私たち職員も教えられ、表彰状をもらう利用者さんの姿を見るたびに、自分のことのように嬉しく思えます。働くということは、その対価を得るためだけの行為ではなく、自分自身を成長させ、周りを明るくする不思議な力があるのだと気付かせてもらいました。今後も就労支援を通して一緒に成長していければ幸いです。

を呼ばれることに、初めはかなり照れながらも胸を張って表彰状を受け取る姿は、たくましく、誇らしげです。表彰をすることでメンバーの意識にも確実に変化が現れ、

ハーブクラブ



昨年10月に自転車道の駅としてオープンして以来、沢山のサイクリストのオアシスとして、ハーブクラブは活動して参りました。そしてこの夏よりまた新しいサービスとしてレンタルサイクルが追加されましたのでご紹介いたします。

大和高原はサイクリストにとって最高のロケーションですが、高原という事もあり直接自転車に乗ってアクセスするには坂道も多く初心者にはきびしいものです。そこでハーブクラブまでは車で来店、そして自転車をレンタルし、大和高原での涼しく軽快なサイクリングを楽しみ、その後はハーブクラブでランチなんてコースも楽しめたりもします。

さらには、ハーブクラブでレンタルできる自転車は、“軽快車・ママチャリ”ではなく、“スポーツバイクのクロスバイク”をサイズ別に2種類ご用意。初心者の方でも乗りやすく爽快に乗りこなす事ができます。皆様も是非、秋の行楽シーズンをハーブクラブのレンタルサイクルで楽しんでみてはいかがでしょうか。

製パン

● 新商品 ●



▲ ミルキーフランス ¥80(税抜き)

追伸

製パン班に今春新しいスタッフが増えました!
毎日パン作りに奮闘している山田スタッフを
よろしく願います。



▲ 導入された急速凍結機

製パン班では新商品でキャラメル風味のミルクが入ったミルキーフランスをお求めやすい価格80円税抜き価格で販売中。

更に秋に向けて新商品を考案中です。

また、プロトンの急速凍結機が導入され、パンの品質保持に努めております。

現在は、練った生地をスタッフと利用者で協力して手早く分割・丸めて、急速凍結機で冷凍しています。また、生地だけでなく、焼き上がったパンを冷凍保存する時にも活用しております。

パンは手早く丁寧につくることが大切なので、立ち仕事が続きますが、利用者さんは集中して作業に取り組んでおります。今後とも品質向上に向けて製パン班一同精進していきますので、よろしくお願い致します。

製菓



「ナイスハートバザール」での販売の様子



製菓班では現在販売先を拡大しております。

今年に入ってから、薬師寺にある「お土産処木寅」、針ヶ谷にある「高原屋」、奈良町で行っている「いきいき朝市」で商品の販売を行っております。また年に数回ナイスハートバザールという主にイオンモール内で行う販売会もしております。販売会では青葉仁会のお菓子がおいしかったといつて再度買っただけのお客様がこられることも増えました。

製菓班で作っているお菓子は好評で順調よく売れていますが、どうしてもハーブクラブまで買いに行くのは大変という方もおられます。そこで、販売処が増えるということは買っていただける機会が増えることなのでうれしく思っています。

いろんな方においしいと言っていただけよう利用者さん、スタッフで常においしいお菓子を作るよう心がけていきます!

究極の省エネ防寒グッズ

「やまとのおいね」

究極の省エネ防寒グッズその名も「やまとのおいね」を東日本大震災の被害地の子供たちとお年寄りにプレゼントしてその温もりを共有してみませんか？
昨年「大和高原文化の会」と畿央大学の村田先生と学生たちが大和高原地方に昔から伝わる防寒衣料「おいね」を共同で苦労の末に復元されました。
その原型をもとに畿央大学で村田先生と学生たちが現代風にアレンジして青葉仁会クラフト班で試作しました。これからの改良を重ねて冬までに販売したいと考えています。



表生地はモンベル社から支給していただいておりますフリース地を用いて触ったときの温かさを出しています。中綿は本来は真綿を使用していましたが、今年はモンベル社製の防寒グッズに使用している保温性の高い化学繊維を入れる予定にしています。

この「おいね」は写真のように背中に座布団を縛り付けたような単純な構造ですが昨年冬、畿央大学の学生さんが卒業研究のテーマとして製作し子供たちに実際に使用させたところ快適さに手放してくれずに弱ったということでした。
サイズはS（幼児用）M（小学生低学年用）L（大人用）の3サイズを予定しています。ブルーリーフで予約を開始しています。



自然学校通信

『バジルとブルーベリーの収穫』

8月に入り、夏野菜の収穫と平行して、自然学校班の売上ナンパーワンのバジルペースト用のバジルを収穫しています。種から育て、ポットに移し、ポットから畑へ長い過程を経ての収穫なので、初めてはさみを入れるときの充実感は嬉しさでいっぱいです。利用者さんその気持ちは同じで、充実感に溢れた表情をされています。商品はブルーリーフ、奈良市内のみやげ物店頭で販売しています。是非お問い合わせください。



バジルの収穫が息つくとも、今度はブルーベリーの収穫が待っています。放置されていた茶畑を開墾して、3年前に3年物の苗300本を植えました。去年おとしと実をつけましたが、鳥に食べられたりと本格的な収穫が行えませんでした。今年は去年までの反省を生かし、十分に甘くなるまで我慢を重ねた結果、最高に美味しいブルーベリーが取れました。冷凍での販売を行う予定です。バジル同様ご購入お待ちしています!!

種から育てたバジル ▶

ブルーベリー収穫の様子 ▼



『あおはにに新しい』

仲間が増えました!!

生活支援部 動物担当

石川 伸二



返事はもちろん「やらせていただきます!!」と即答でした。

話は戻りますが、いわゆるアニマルセラピーに用いられる動物のことを、『コンパニオンアニマル』といいます。特に、イルカ・馬・犬は他の動物に比べるとスバ抜けて『コンパニオンアニマル』に向いています。なぜかという、人に興味を示し、意思疎通を図ろうと近寄ってくる性格だからです。そして人に対してとても優しいからです。

現在、ポニーはまだまだ子どもで、人に慣れるために訓練を行なっています。また、今年のサマースクールでは、ポニーとふれあうプログラムを実施し、大変好評をいただきました。現段階ではエサをあげたり、体を触るのが精一杯ですが、それでも参加されたお子さんたちは怖がりながらもチャレンジし、ふれあえたときには満面の笑みを浮かべておられました。今後は、利用者さんはもちろん、イベント等で一般の方が来られた際にも乗馬して広場を歩き回れるような企画を実施できるよう、ポニーと力を合わせて頑張っていきたいと思っています。

5月下旬、あおはにに2頭のポニーがやってきました。名前はサツキちゃん(2歳・メス)とヨモギくん(1歳・オスの姉弟です。1、2歳といつても、体長は1メートル以上で、初めて見た時はその迫力に驚きました。話は変わりますが、なぜ私が飼育の担当になったかと言いますと、学生の頃、知的障がいのある子どもを対象にした、『イルカふれあいプログラム』を行なっている施設で実習と研究をしていた経験があり、いつか自分も動物と人がふれあえるような仕事に携われたら、と思っております。そんなある日、近々ポニーがやってくるということを小耳に挟み、私に飼育の担当をしてほしいという依頼がきました。



『全体がひとつになった銀河コンサート!』

生活支援部次長

稲實 祐典



★私が平成21年度まで所属していたハーブクラブでは年に4回、「ディナー&ライブ」を般のお客様対象に企画していましたがそのような企画等を通じて知り合った音楽アーティストとのネットワークを生かして今年度から利用者に生の音楽に触れる機会を少しでも増やして

より豊かな感性を育てていくことにつなげたいという想いで第1回銀河コンサートを7月30日(土)に開催致しました。

★今回のゲストは大阪を中心に活躍されている南米の民族音楽(フオルクロレ)グループのエス・ペレ・

★ウン・ポコさん。

★参加者は入所の利用者だけでなく、木工班やクラフト班の通所の利用者、森の学校の参加者の皆さんなど50名近くが銀河ステーションに集まり音楽を楽しみました。

★と言っても今回の参加者の顔ぶれは普段接点の少ない人達も多く最初は遠慮がちに静かに聴いていた感がありました。途中で皆がよく知っている曲がでてきたりして次第に演奏者と参加者が体となり始め、心のつながり、豊かさを感じる素晴らしいコンサートだったと思います。

★今後も音楽の持つパワーを感じながら、心“の洗濯”につながることを期待しています。

『ジョブ班で工場見学に行ってきました!!』

生活支援部

ジョブ班 永原 克彦



★今年のジョブ班では、毎月1回リフレッシュ企画を取り入れています。6月にはクラフト展もあつたので、その打ち上げもかねて6月は思い切つて工場見学に行ってきました!

★もともと行き先は「コカ・コーラ」を予定していたのですが、都合がつかなくなつてしまい、最終的にヨネニの「ヨーグルト館」に行ってきました。はじめに、乳酸菌やヨーグルトの歴史などについてア二

★メを見て教えて頂き、クイズなどもあり利用者も楽しませていただきました。次にブルガリアヨーグルトなどを作っているラインを見学させてもらいました。普段スーパーなどで売っている「ブルガリアヨーグルト」などが出来ていく行程をみてみんな「すごいな」と言ったり、嬉しそうに喜ばれていたり反応は様々でしたが、楽しんでくれていたようで良かったです。帰りにはお土産ももらい、みなさんニコニコ顔で帰って来ました。また、このような企画を考えていけたらと思います。

合同おやつ作り&昼食作り

青葉仁会の地域支援部では

- ①相談支援事業 ②ケアホーム ③居宅介護・行動援護・移動支援
 - ④職場適応訓練(ジヨブコーチ) ⑤奈良市つどいの広場(奈良市委託事業)
- をおこなっています。

ケアホームは市内5か所にあります。毎月1回(第3土曜日)合同でおやつ作り&昼食づくりを企画しています。

今までのメニューは、焼きそば・ホットケーキ・冷麺等。
みんなで作る人はワイワイと。将来自分1人でも作れるようになりたいな...の人は、ボランティアさんといじくりと。

普段一緒に過ごす事のない利用者さん同士なので、人見知りの人は緊張するかな...と心配もしたのですが、回を重ねる毎に自分たちで進める部分や、意外な人が包丁遣いが上手なのがわかったり!毎回、次回のメニューを決めて解散。

青葉仁会のヘルパーさんで活躍して下さっているスーパー主婦のお二人が、毎回ボランティアで参加して下さい、賑やかな美味しい時間を共に作りだして下さいます。(感謝 感謝です)

約半数の方は土曜日も仕事で、又週末はご自宅に帰られたり、お友達と外出して過ごす方も多いので、毎回6~7名の参加なのですが、曜日の工夫もしながら、少しずつでもみんなの生活の幅を広げられる取り組みをしていきたいです。



連載コラム 支援スタッフの声

感動を生み出す、余暇活動

平成19年4月入社
樋口 真一

今年の夏の高校野球は、日大三校の優勝で幕を閉じました。ひたむきな姿、一生懸命に何かに取り組む姿勢は人の心を動かします。

昨年の11月、活動の二環として第九のコンサートに出演を果たしました。京都コンサートホール、そして京都市交響楽団という一流の舞台とオーケストラ。参加者全員とても素晴らしい経験をさせて頂きました。終演後の鳴り止まない拍手。そして総立ちのお客様...。一流のプロの演奏会でもなかなかそうはいきません。高校野球と同様に結果だけではなく、そこに至までの背景やプロセスも含めた上での評価だと思います。

感動を生み出す、余暇活動はそんな素晴らしい二面を持っています。自分たちが楽しむだけでなく、周囲の人をも巻き込んでいく。さらに、自分の世界を少しずつ広げて、社会との関わりを増やしていく。それは立派な社会参加です。「野球を通じて、人々に感動をもたらす」、これはかなり有名になったある本に出てくる言葉です。余暇活動を通じて、社会参加を目指す。毎日の味に洗濯物をたたんだり、掃除をしたりしている生活スタッフですが、密かにそんな野望に燃えています。



あかるい福祉あかるい地域

青葉仁会理事長

榊原典俊

平成23年5月末、ゴールデンウィークに合わせて、奈良市の帝塚山4丁目、バスロータリーのところに新たな事業所であるレストラン「SORA」をオープンしました。「SORA」とは、シンプル、オーガニック、リラクゼーション、アメニティの略称です。この建物は新築ではありません。元は「スーパーマーケット」として営業していたものです。廃業後はかなりの年月に渡り空き店舗になり、内外ともに荒れてしまっていました。その建物を改築して表はレストランと食材販売のショップとし、バックヤードはお惣菜工場として3事業の併設でオープンしました。かつては誰も使わない閉め切った空間で虫や何かが自由に闊歩していたころも、今では綺麗な店舗として生き返り、モダンなユニホームに出で立ちもりりしく利用者の人達は、毎日元気に働いています。

この新しいお店「SORA」はバスロータリーの門口にあります。そこは大きな住宅街の玄関に位置します。ロータリーを半円形に囲むようにして商店街となっています。かつては家族連れで賑わいをみせていた所ですが、今では殆どのお店がシャッターを下ろしてしまい、同じ色合いの広がる無機質な風景となっています。それはよくある風景で別に珍しいものではありません。今では日本中で普通に見られる景色です。どこに行っても大手スーパーや巨大なショッピング

モールがあつて、かつての地域密着型の商店街は、見る影もなくすっきり寂れてしまいました。そして子供たちが走り廻り快適な住宅街であつた所も、少子高齢化の影響か今では人影もめっきり少なくなり、主たる住人となった高齢の人達はその中で不便な生活を強いられています。

ライフラインという言葉をよく耳にします。災害という特別な環境の場合が殆どですが今や高齢者にとつては、日常の生活環境そのものにおけるライフラインの確保が困難になっているのではないのでしょうか。高齢者の中には車の運転をやめてしまった人もたくさんいるでしょう。また郊外の大型スーパーにいても、必要品のサイズが大きすぎて身に余るものが多いのではとも心配されます。福祉施策だけでこのような問題が解決されるわけではありません。

さて話は変わりますが、日本中には多くの障害者施設があります。それらの施設の中には、歴史的な社会状況の中で里から離れた場所に位置しているところもたくさんあります。福祉施設として利用者さん達と共に、何か地域の役に立ちたいとの願いはあっても、機会に恵まれない施設がたくさんあります。このような施設が少子高齢化の街に出て行き、閉まったシャッターをひとつずつ開けていくことができれば、お店がひとつづつ開ける度に、ライフラインをひとつづつ良くしていくことができます。そうすれば寂れた景色がひとつづつ明るくなっていきます。施設解体と人権派を称す

る人達も、施設に怒りを向けるだけではなく、施設と地域の仲介者として力をそそげば、施設の人達と共に明るい心になるでしょう。私にはそう思えてなりません。

私たちはこの度、地域住民の方々のお力添えを得て、幸運にもレストランをオープンすることができました。そうすれば思いがけないほど周囲が明るくなったような気がします。また何かが開放されたようにも感じられます。もしかすると、使われなくなったスーパーが大きなゴーストになって建物やその場所も苦しかったのかもしれない。

お店のほうは、お蔭様で利用者の人達もかなり慣れてきました。彼らはお客様が多いと生き生きとしています。彼らは人に喜ばれて働くことを素直に喜びます。それは、もうひとつのレストラン「ハーブクラブ」を通して日々感じてきたことです。これからは彼らの上達に合わせてメニューや商品揃えを行い、地域の人達に喜ばれるお店になれば彼らはもっと輝いて生きていくでしょう。その姿を見るのは職員や、そしてお客様を問わずみんなの喜びになります。そのことも「ハーブクラブ」とおして感じてきたことです。やってみて分かることがたくさんあるように、障害のある人達とふれ合つてはじめて分かることもたくさんあります。人や主義を問わず社会がひとつになるにはかなりの困難を要します。しかし近隣社会で障害のある人達と共生して生きていくことは、それほど難しいことではないかもしれません。

ふれあおう! 感じよう! 味わおう!
あおはに 20周年祭

あおはにゲーム大会
ゲームに参加して
豪華賞品を
ゲットしよう!

あおはに体験工房
陶芸、木工体験
など
チャレンジ!

ア+展
ワクワクするような
あおはにアート
をご覧ください!

あおはにshop
人と自然に優しい
あおはにshopで
お買い物!

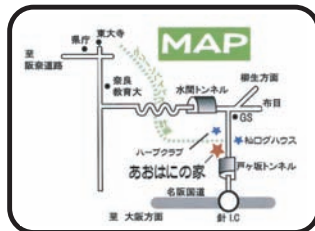
野遊び教室
野遊びを体験して
自然力を
高めよう!

足裏療法
日ごろの疲れを
癒しに来て
ください!

あおはに利用者オンステージ
※ あおはに第九を歌う会
※ 青葉にチャレンジャー
※ ミュージックケア

こだわり模擬店
あおはにオリジナル
メニューを
“したづつみ”

2011
10月30日
(Sun)
第26回 杣ノ川ランド



送迎バス(要予約)時刻表	
行き1便	富雄(8:50)→JR奈良(9:20) →近鉄奈良(9:25)→青葉仁(10:00)着
行き2便	JR奈良(10:20)→近鉄奈良(10:25) →青葉仁(11:00)着
帰り1便	青葉仁(15:00)→近鉄奈良(15:40) →JR奈良(15:50)→富雄(16:15)
橿原行便	橿原(9:30)→青葉仁(10:00)
帰り便	青葉仁(16:00)→橿原(16:30)

アトラクションメニュー

寧鼓座(なござ)和太鼓
お客様にも参加して頂くコンサート。
太鼓を打って盛り上がりましょう!

アフリカの太鼓コンサート
西アフリカ一帯で伝統的に演奏されている深胴の片面太鼓
ジャンのペグループ「ダボラ」のコンサート

あっと驚く動物の骨たち?!
「なにわホネホネ団」大阪市立自然史博物館を拠点に動物の
骨格標本作りを通して博物館のお手伝いをしているサークル

ポニーと羊にも会えるよ
あおはにの仲間でお世話している
ポニーや羊たちに会いにきませんか。

青葉仁会をご支援くださった方々

【会費】	
遠藤保彦	満生亭
水島久	上西健一
市村明徳	山根久子
信高哲夫	内田正則
横田源隆	辻良子
武谷はるよ	国松浩史
寺崎由子	湯浅珠樹
谷本和夫	神ひかり
鈴木俊亮	浅見登巳子
前田洋	光野昇
三島泰明	衣畑晴充
舟越純英	黒田久子
鍵岡龍太郎	藤野真弓
渡辺瑠璃子	牧田統
中山恵子	山出哲史
前島定雄	村田聡
志賀寛	長尾光洋
満生五郎	藤原剛
満生満智子	
【寄付】	
久保勇	信太三吉
三〇	
乾武	澤口清美
五〇	
尾崎峻	
五千円以上	
福野有倫	松原昇
八木徹子	三浦成男
小川靖子	信太三吉
鈴木ふじ子	
一万円以上	
志賀久美子	清岡正教
三万円以上	
カフェテラスN2	
狭川宗玄	
13万円以上	
梅山秀樹	
15万円以上	
光専寺	